

小児気管支喘息発作による小中学生の 学校保健室来室状況

出典 慶應保健研究(1340-9379)31 巻1号 Page19-22 (2013. 08)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2014116496>)

著者 康井 洋介 他

調査地域 東京都、神奈川県

調査時期 2006～2011 年

調査対象 小学生、中学生

依頼数 —

回収率 —

有効回答数 小学生 1566 人 中学生 5189 人

診断方法 独自の質問表
(保護者申告で2年以内に最終発作もしくは現在治療を受けている)

有症率	小学1年生		中学1年生	
	男	女	男	女
2006年	7.3%	12.5%	7.2%	4.2%
2007年	11.5%	4.2%	8.6%	6.6%
2008年	8.3%	6.3%	10.8%	5.3%
2009年	12.5%	6.3%	6.7%	4.0%
2010年	15.6%	6.3%	8.0%	8.0%
2011年	9.4%	2.1%	8.4%	8.4%
合計	10.8%	6.3%	8.3%	5.8%

調査概要 小中学生の気管支喘息有症率、学校生活中の発作についての報告。2006年から2011年において、小学生では有症率、学校生活中の発作に変化はないが、中学生では有症率は変わらず、学校生活中の発作の減少傾向が認められた。